

広島県経済の動向

2021年8月15日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R3年		
	5月	6月	7月
基調判断	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。		
輸 出	緩やかな増加が続いている。		
生 産	持ち直している。		
設 備 投 資	持ち直している。		
雇 用 情 勢	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる	
個 人 消 費	このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。		
住 宅 建 設	おおむね横ばいとなっている。	底堅い動きとなっている	
企 業 収 益	感染症の影響により、非製造業では弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。		

(2) 先行き

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和3年7月19日公表）】

2 広島県経済の動向

(1)概要

指 標	R3年		
	5月	6月	7月
基調判断	持ち直しのペースが鈍化している。		下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある。
輸 出	持ち直しのペースが鈍化している。		自動車を中心に下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある。
生 産	持ち直しのペースが鈍化している。		自動車を中心に下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある。
設 備 投 資	下げ止まりつつある。	下げ止まっている。	
雇 用 情 勢	弱い動きがみられている。		
個 人 消 費	サービス消費を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しが一服している。		サービス消費を中心に下押し圧力が続いており、持ち直しが一服している。
住 宅 投 資	下げ止まっている。		

(2)県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症が県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和3年8月2日公表）】

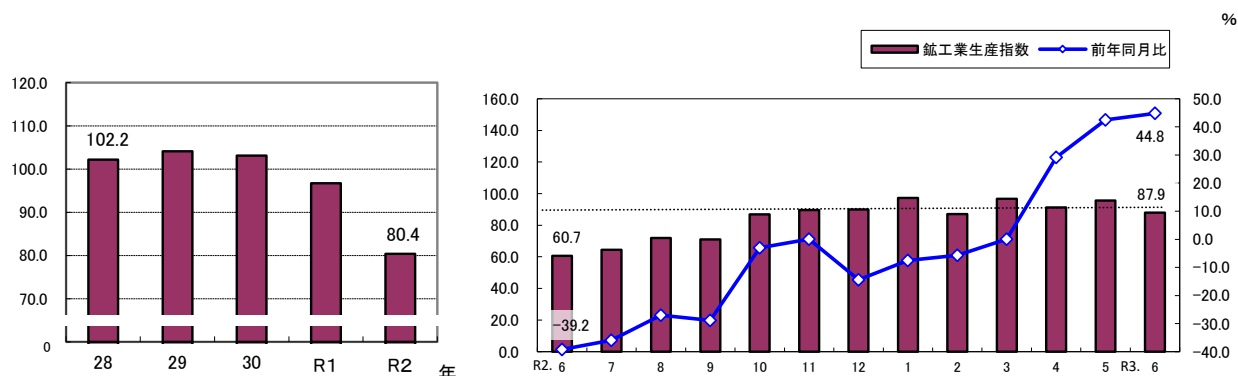
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和3年6月)

6月の鉄工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は87.9%で, 前年同月比で44.8%増加となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】

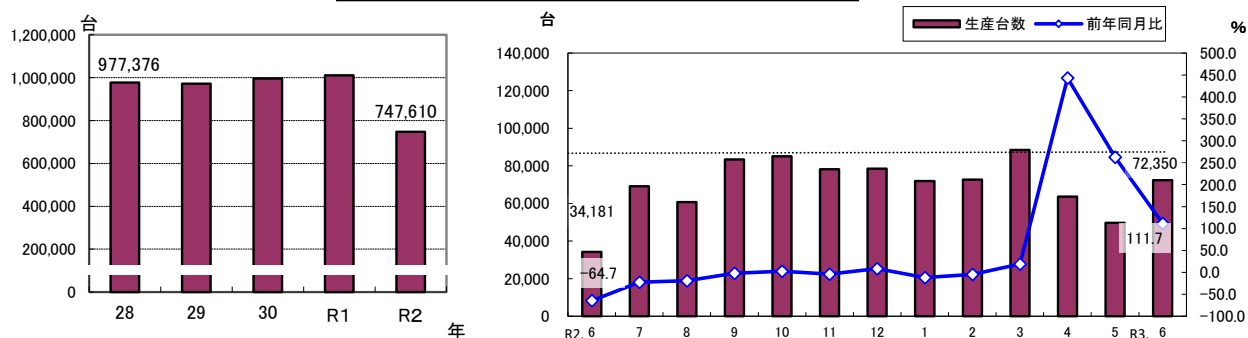


2 自動車(令和3年6月)

6月の国内生産台数は72,350台で, 前年同月比で111.7%増加となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比)

【マツダ(株)】

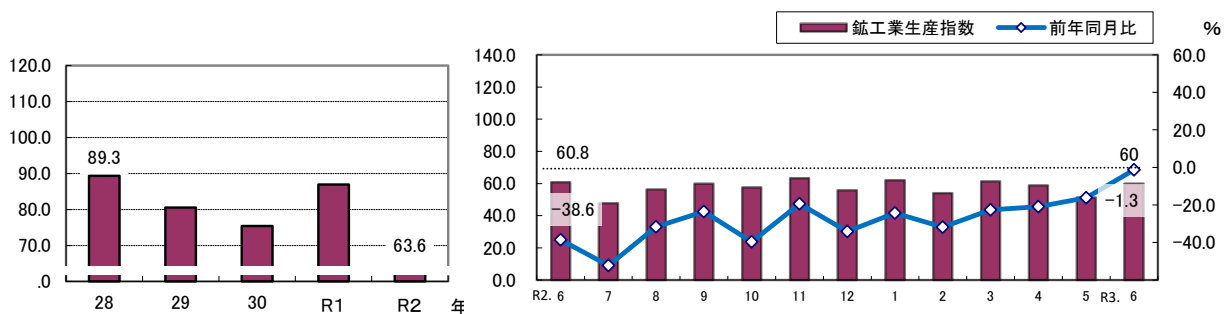


3 造船(令和3年6月)

6月の鉄工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は60で, 前年同月比で1.3%減少となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】

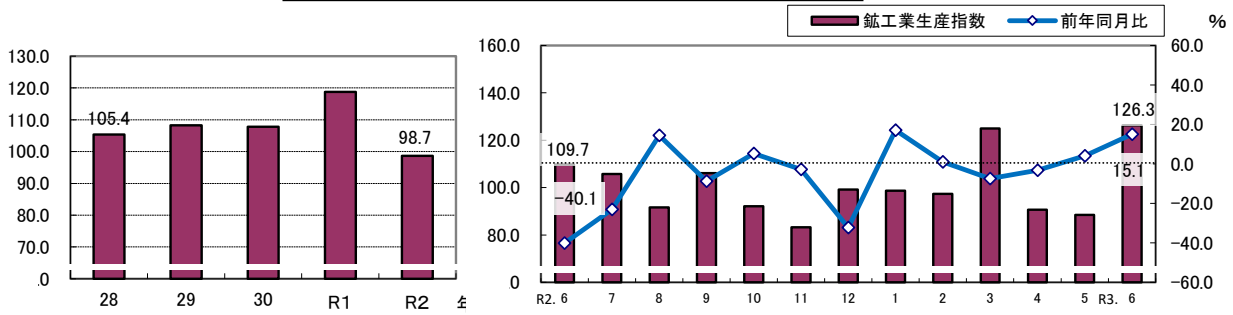


4 一般機械(令和3年6月)

6月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は126.3で、前年同月比で15.1%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械)(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】

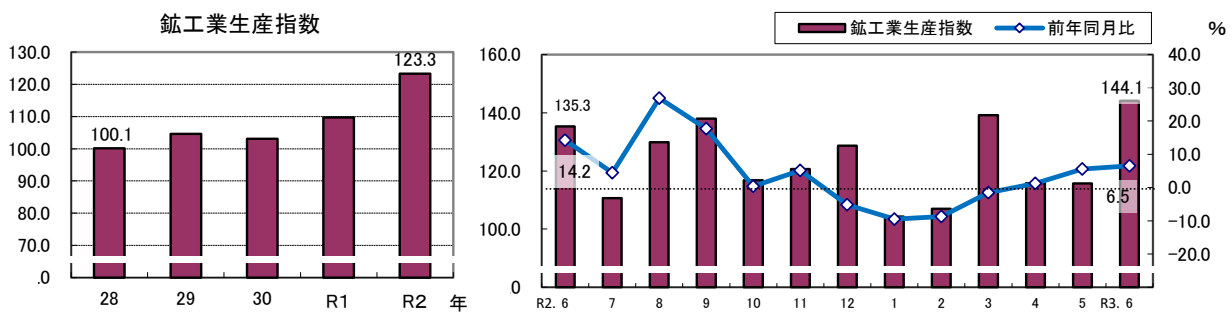


5 電気機械(令和3年6月)

6月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は144.1で、前年同月比で6.5%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】



Ⅲ 中小企業の動向(令和3年6月)

【広島県中小企業団体中央会】

【1】概況

全体的に、緊急事態宣言が解除され、徐々に動きが出てきているが、業種をまたいだウッドショックの影響や、半導体ショックの影響が顕著であり、原材料の価格高騰によって部品供給や資金繰りへの不安定要素が大きい。依然として、先行き不透明であり、コロナワクチンの接種状況もふまえて、今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数が前年同月比5.3%増加と9ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車は同8.4%減少と3ヶ月振りの前年割れ、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比42.2%増加で3ヶ月連続の前年超えとなった。木材業界では、全国住宅着工戸数は前年同月比9.9%増加と3ヶ月連続の前年超えとなり、広島県内の着工戸数前年同月比6.1%増加となった。回復傾向にあるものの、全国同様コロナ禍での低水準からの回復であり、4月から本格化したウッドショックの影響で市況は依然混沌としている。

【2】景況感・景況感の変化

業種	5月の景況感	6月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	やや悪い	普通
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	普通	やや悪い
土石製品	やや悪い	やや悪い
鉄鋼(鋳物)	悪い	悪い
金属製品	悪い	悪い

業種	5月の景況感	6月の景況感
一般機械器具	やや悪い	やや悪い
電気機械器具	やや好況	やや好況
自動車部品	普通	普通
造船	やや悪い	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	悪い	悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	やや悪い	普通

(単位・業種)

景況感	5月	6月	増減
好況	0	0	0
やや好況	1	1	0
普通	2	3	1
やや悪い	14	13	▲1
悪い	3	3	0

(3)前月(5月)から変化のあった主な業種

業種	5月の景況感	6月の景況感	変化の理由・状況
木材	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・5月の着工戸数は1,410戸で前年同月比6.1%増加 ・内訳としては、持家は374戸で前年同月比9.0%増加、貸家は567戸で同5.8%増加、分譲は468戸で同4.0%増加と県全体の住宅着工動向は2ヶ月連続の増加となった ・全体的に回復傾向にあるものの、全国同様コロナ禍での低水準からの回復であり、4月から本格化したウッドショックの影響で市況は依然混沌としている。木材製品の高騰や入手難から木造や木材離れを懸念する声や、業種業態で繁閑格差も顕著であるなど、先行き不透明であり、今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。 <p>【広島県木材協同組合連合会】</p>
情報サービス	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は、前年同月比で売上・利益ともに減少したが、累計では前年度を維持できている。今年度になって引き合いが一気に増えた。 ・世の中で、電子部品が不足しており、入手が困難となっている。 <p>【(一社)広島県情報産業協会】</p>
プラスチック製品	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連は、半導体不足での減産が、6月から7月とますますの増加が予測される。日用品等は横ばい傾向である。 <p>【広島県プラスチック工業会】</p>

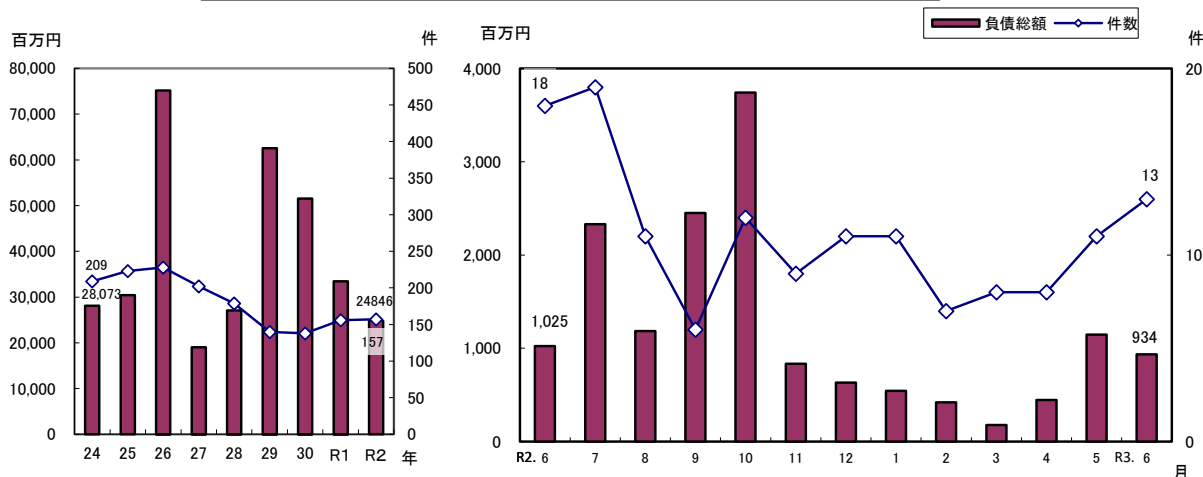
IV 企業倒産状況(令和3年6月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上倒産は、件数が13件、総額9億3,400万円であった。
- ・前月比で件数は2件増加し、負債総額は2億1,300万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は5件減少し、負債総額は9,100万円減少した。
- ・大型倒産(負債総額10億円以上)は発生しなかった。

区 分	令和3年4月	令和3年5月	令和3年6月
件 数 (前年同月比)	8件 (65.2%減)	11件 (57.1%増)	13件 (27.8%減)
負債総額 (前年同月比)	446百万円 (83.3%減)	1,147百万円 (60.1%減)	934百万円 (8.9%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が5件、建設業、サービス業が各4件となった。負債総額では、建設業、サービス業、卸・小売・飲食業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が9件、シワ寄せが4件であった。

4 今後の見通し

2021年5月度の倒産件数は前年同月比9カ月ぶりの増加となったが、6月度は再び前年同月比減少となった。2020年9月度以降の10カ月で倒産件数が前年同月を上回ったのは5月度のみで前年同月以下が大半を占めている。各種コロナ支援策が打ち出され、その効果や各企業の様々な取り組みなどから倒産は抑制された状態が顕著となり、2021年上半期(2021年1月～6月)の倒産件数は58件(前年2020年上半期比41件減)、負債総額は36億7,100万円(同132億400万円減)と1965年集計開始以来の上半期で件数、負債総額共に最小となった。

2021年6月1日～6月9日に実施した第16回「新型コロナウイルスに関するアンケート」調査に於いて、債務(負債)についての質問では、回答を得た広島県内企業の約3社に1社が過剰感があるとの回答であった。また、コロナ禍が収束する時期の予測についての質問では、半数以上が2022年4月以降とするなど、長期化を予測しており、中長期的に寄り添った支援が必要となっている。

第4波による新型コロナウイルスの感染拡大から広島県内にも5月16日から6月20日まで緊急事態宣言の措置期間となって感染拡大防止に取り組み、県内の感染者数も減少傾向となり、新型コロナワクチンの接種が全国に進んできている。しかし、東京都では新規感染者数のリバウンドの傾向が懸念されてきているなかで7月下旬にはオリンピックが開催される予定であり、感染拡大は予断を許さない状態が続いている。

以上のように、多くの企業が早期の収束を予測できない厳しい経営環境下であり、業績の改善は容易ではなく、体力のない企業の息切れが懸念され、倒産件数は増勢に転じる可能性が強まっている。

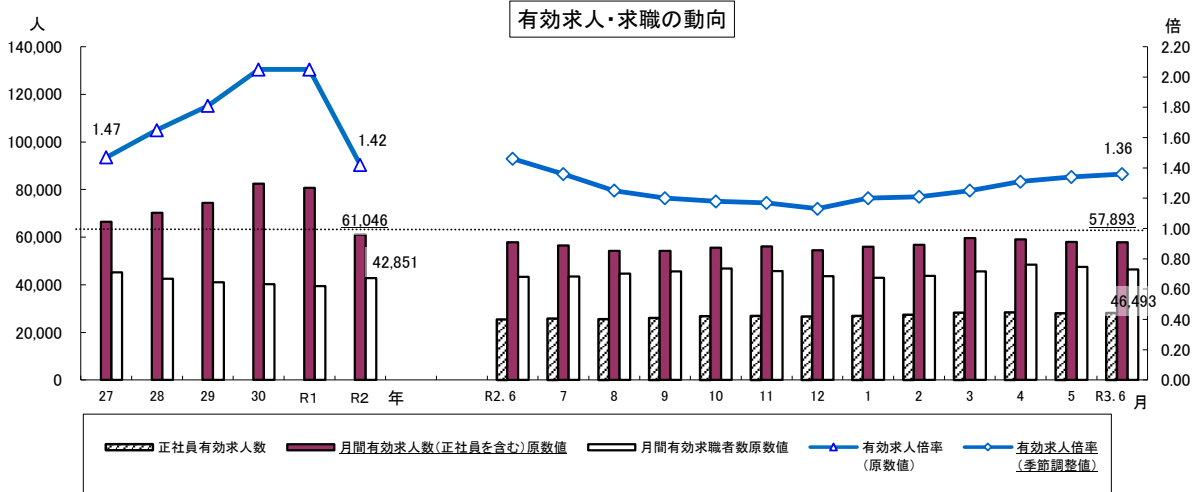
【(株)東京商工リサーチ】

V 最近の雇用失業情勢(令和3年6月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和3年4月	令和3年5月	令和3年6月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.31倍 (+ 0.06ポイント)	1.34倍 (+ 0.03ポイント)	1.36倍 (+ 0.02ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.00倍 (▲ 0.10ポイント)	1.02倍 (+ 0.00ポイント)	1.05倍 (+ 0.08ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

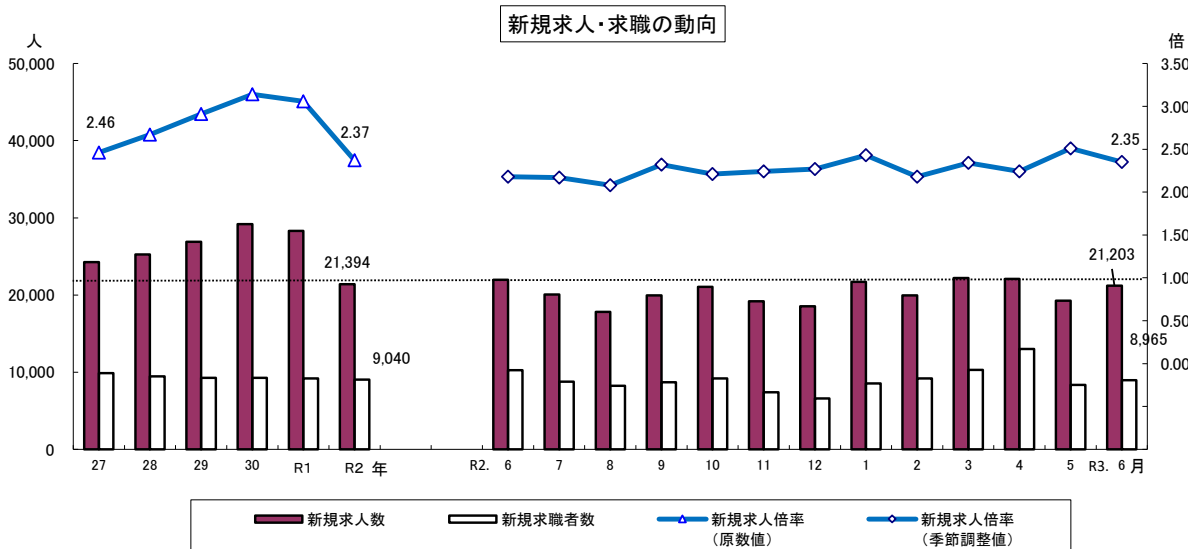
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和2年1月から令和2年12月の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)(令和3年度)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和3年4月	令和3年5月	令和3年6月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.24倍 (▲ 0.10ポイント)	2.51倍 (+ 0.27ポイント)	2.35倍 (▲ 0.16ポイント)

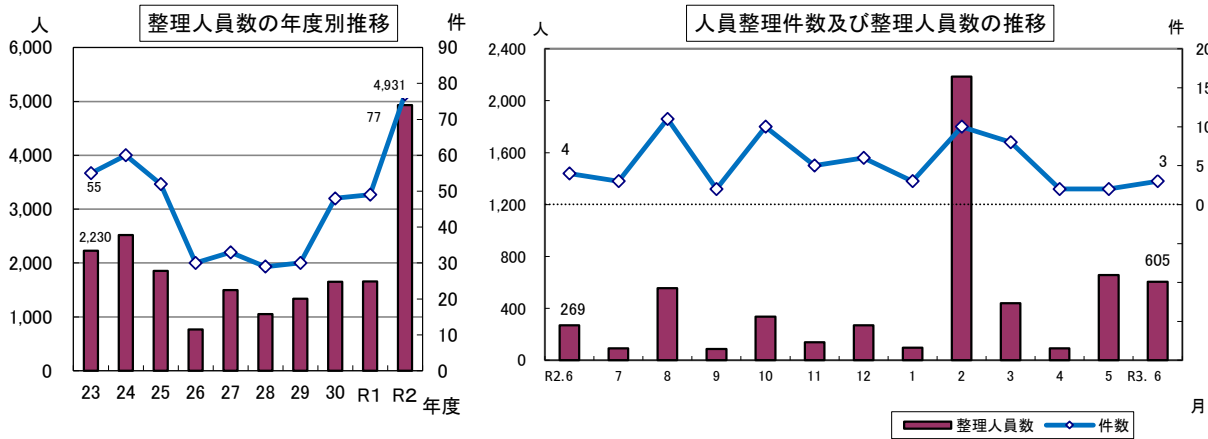
【広島労働局】



(注) 令和2年1月から令和2年12月の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和3年4月	令和3年5月	令和3年6月
件数 (前年同月比)	2件 (▲ 7件)	2件 (▲ 4件)	3件 (▲ 1件)
整理人員 (前年同月比)	92人 (▲ 90人)	658人 (+ 294人)	605人 (+ 241人)

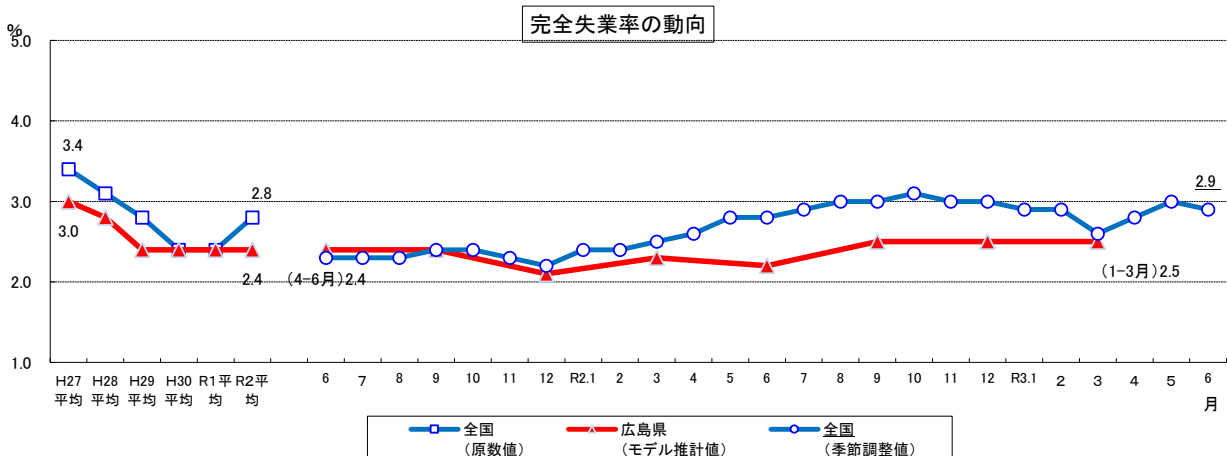


4 完全失業率の状況

区 分	令和3年4月	令和3年5月	令和3年6月
全国完全失業者数 (前年同月比)	209万人 (+20万人)	211万人 (+13万人)	206万人 (+11万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.8% (+ 0.2%)	3.0% (+ 0.2%)	2.9% (▲ 0.1%)

区 分	令和2年		令和3年
	7~9月期平均	10~12月期平均	1~3月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前期比)	2.5% (+ 0.1%)	2.5% (+ 0.3%)	2.5% (+ 0.2%)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。